

グリーンセンター 臨時休業のお知らせ

3月29日(金) 12時まで営業

3月30日(土)・3月31日(日) 休業

4月1日(月) 12時より営業

棚卸監査の為、ご不便をお掛け致しますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

今月の注文書等について

「野菜苗・しょうが種子・さつまいも苗」「茶缶・茶袋」

「チップソー・2サイクルオイル及び茶用袋」

※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

3月の自己取り商品について

「水稻肥料・農薬」「水稻農薬省力型剤」「お茶面積予約肥料」

令和6年3月21日(木)・22日(金)・23日(土)

9:00~15:00までに取りに来てください。

(上記以外のご注文品は準備ができ次第、ご連絡いたします。)

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。 土曜日以外は在籍予定ですが、都合により不在の場合がございます。
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) <u>3月12日・26日となります。</u>

～作物管理情報～

【く り】

施肥 3月下旬～4月上旬 化成肥料 14-14-14 60kg/10a(元肥)

【か き】

施肥 柿配合 100kg/10a 2月中に行わなかった方は早めの施肥を行いましょう。

【湘南ゴールド】

剪定

温州みかんと同じ開心自然型とします。しかし、温州みかん同様の剪定では強すぎるため、主枝や垂主枝を竹などで開張し、逆行枝、側枝の重なり枝の間引き剪定と下垂枝の切り返し程度に控え、樹冠内部に光が入る様にしましょう。

結実し始めた樹は弱剪定で樹形が乱れているので、剪定量を増やし樹形を徐々に改善しましょう。

施肥 3月中下旬

みかん配合 140 kg/10a 施肥後に軽い中耕を行う。

収穫後

○かいよう病 I Cボルドー66D 100倍 1,000 g/100 ㎡
(アピオンE (注文取り寄せ品) 1,000倍 100ml/100 ㎡加用)

※発芽前であればアピオンEの加用はない。

※病斑のついた枝は剪定時に園外へ持ち出す。

※I Cボルドー66Dはマシン油との散布間隔は14日以上開ける。

【レモン】

整枝剪定

特に若木は樹勢が強く花芽が付きにくいので、樹勢が落ち着くまでの整枝剪定は、整枝を主体とし、徒長枝や混み合う枝の間引きを軽く行う程度とする。また、花芽が着く春枝の先端は切り返さない。枝は立ち性で太く放置すると高くなるので、枝を下げ誘引する。

樹勢が落ち着いてきたら、徐々に剪定量を増やし、開心自然系にしていくが、樹勢が強いため、過度の剪定は徒長枝が多発し結果しなくなるので注意が必要です。樹幹内の枯れ枝は黒点病防除のため、常に除去するように心がける。

春肥施用 (3月中旬頃)

みかん配合 160kg/10a 施肥後、軽く中耕を行う。

【中晩柑】

不知火・はるみの剪定

主枝先端を明確にして、直径1cmぐらいのところを切り返し、予備枝(坊主枝)を作り、新梢を発生させ樹勢の維持を行う。翌年の結果母枝の確保のため、鉛筆位の太さの予備枝(坊主枝)を、垂主枝に対して1本設けましょう。

はるみは主枝先端部の切り返しを強めに行い、不知火はやや強めの切り返しにとどめる。はるみ程強く切り返す必要はない。

施肥 みかん配合 140 kg/10a 施肥後に軽い中耕を行う。

病害虫防除

はるみ・レモン・ネーブル等は、かいよう病に罹病しやすいので、湘南ゴールドの項を参照。

『デコポン』の名称について

デコポンの名称は、熊本県果実連の登録商標です。「不知火」の果実は糖酸度に関係なく個人販売、JA直売所において『デコポン』の名称で販売できません。

【温州みかん】

施肥 3月中下旬

○みかん配合 160kg/10a 施肥後、軽く中耕を行いましょ。

※特選みかん配合 655 には 微量要素 が含まれています。

数年に一度は微量要素欠乏対策の為、特選みかん配合 655 を使用しましょ。

石灰資材の施用

○顆粒タイニー 又は 苦土タンカル 200kg/10a

※石灰資材をここ数年施肥していない園(又は1~2月に石灰資材を施用していない園)では、根の活動が低下し、養分の欠乏をひきおこす可能性があるため必ず施用し中耕しましょ。尚、春肥とは最低でも2週間以上あけてください。

病害虫防除 3月中下旬

○かいよう病・そうか病対策

病斑のある枝葉は、新葉が出てくるときに感染源となるので、剪定時に取り除いて園内から持ち出し病原菌の密度を低くしましょ。

○かいよう病 コサイド3000 1,000倍 100g/水100㍺

(クレフノン200倍 500g/水100㍺加用)

※マシン油乳剤と混用散布は避け、近接散布は最低2週間以上あけましょ。

※温州みかん園に中晩柑類(ネーブル・レモン等)が混植されている場合には防除を必ず行いましょ。

※この時期に散布が難しい園は4月上・中旬に下記を散布しましょ。

コサイド3000 2000倍 50g/水100㍺ (クレフノン200倍 500g/水100㍺加用)

又はイデクリーン水和剤500倍 200g/水㍺ (クレフノン200倍 500g/水100㍺加用)

【キウイフルーツ】

施肥 3月中旬

○キウイフルーツ配合 100kg/10a (新梢の充実と初期肥大促進を目的)

病害虫防除 3月上旬(剪定後)

○カイガラムシ類 スプレーオイル 100倍 混用

アブロード水和剤 収穫前日 2回 1,000倍 100g/水100㍺

3月中旬(発芽前)

○キウイヒメヨコバイ **アグロスリン乳剤(劇)** 収穫7日前 3回 2,000倍 50ml/水100㍺

○かいよう病 ICボルドー66D 収穫後~発芽前 50倍 2,000g/水100㍺

※キウイヒメヨコバイの多発園ではこの時期防除することにより発生を減らすことができます。

【お茶】

施肥 2月下旬と3月中旬の2回施肥

・2月下旬 ○足柄茶配合 60kg/10a

・3月中旬 ○足柄茶配合 40kg/10a

病害虫防除 3月上~中旬

○カンザワハダニ **バロックフロアブル** 摘採14日前 1回 3,000倍 33ml/水100㍺

又は**ダニゲッターフロアブル** 摘採7日前 1回 2,000倍 50ml/水100㍺

○もち病 コサイド3000 摘採14日前 1,000倍 100ml/水100㍺

4月上中旬

○ツマグロアオカスミカメ多発園

キラップフロアブル 摘採7日前 1回 2,000倍 50ml/水100㍺

【う め】

施肥 3月中旬

○梅配合 80kg/10a (樹勢を安定させ着果後の肥大促進を目的)

病害虫防除 3月上旬～3月下旬

○かいよう病 コサイド3000 2,000倍 硬核期まで 50g/100畝
(クレフノン 200倍 500g/100畝加用)

※この時期のかいよう病防除は重要防除になります。必ず散布し、加工果実を減らしましょう。

3月中旬～下旬

○アブラムシ類 スミチオン乳剤 収穫14日前 2回 2,000倍 50ml/水100畝

又はチェス顆粒水和剤 収穫21日前 2回 5,000倍 20g/水100畝

○灰色かび病・黒星病 ポリベリン水和剤 収穫30日前 3回 1,000倍 100g/100畝

※灰色かび病の防除適期は落弁期(花びらの80%が散った時期)であるが品種によって開花時期が異なるので状態に合わせて防除する。

<黒星病の防除について>

黒星病の発生が非常に多くなっています！4月上旬、下旬、5月上旬の春先の防除が有効になりますので徹底しましょう！特に、5月上旬の防除をされていない園は、4月の防除に加え今年は必ず防除をするようにしましょう！

4月上旬 ベルクート水和剤 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水100畝

4月下旬 ストロビードライフフロアブル 収穫7日前 3回 3,000倍 33g/水100畝

5月上旬 スコア顆粒水和剤 収穫前日 3回 3,000倍 33g/水100畝

*2週間間隔で散布しましょう。 *前年の被害枝は切除しましょう。

※農薬名に網掛けがあるものは、購入時に印鑑が必要となります！

農薬を使用する際は、適作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。(前日は24時間前)

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

令和5年産湘南潮彩レモン 集荷状況

令和6年1月「湘南潮彩レモン」を約5トン集荷いたしました！！

湘南潮彩レモンは、当JAオリジナルブランドとして名称ロゴマークを商標登録しており、業者や市場から多く要望されています。

「湘南潮彩レモン」は令和6年5月まで集荷しておりますのでレモンを栽培している方は是非JAへのご出荷をご検討ください！！

詳しくはお近くの営農経済センターまでお問い合わせください。